

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

サステナビリティレポート 2025



**CREATE VALUE FOR
PEOPLE AND SOCIETIES.**

保険を、人と社会のために。



目次

Introduction

経営理念・目指すグループ像	1
T&D保険グループのあゆみ	2
T&D保険グループの事業概要	3
T&D保険グループの価値創造プロセス	8

サステナビリティマネジメント

トップメッセージ	9
サステナビリティ・マネジメント・アプローチ	11
サステナビリティ・アドバイザー・コミッティ	14
サステナビリティ推進の重点テーマ	15
社会的課題と共有価値創造の取組み	16
SDGsへの貢献	18
ステークホルダーエンゲージメント	19
人権の尊重	22

重点テーマ1

健康で豊かな暮らしの実現	25
社会のニーズにお応えする商品・サービスの提供	26
「心からのご安心」をお届けするために	37
「お客さまの声」にお応えする取組み	41

重点テーマ2

多様な人材が活躍できる環境づくり	43
人的資本経営	44
成長の機会を提供する取組み	45
多様性への取組み	47
働きやすい職場環境	50
従業員の健康のために	54
従業員の動向	56

重点テーマ3

地球環境保全・気候変動の緩和と適応への貢献	57
推進体制／TCFDに基づく気候関連財務情報の開示	58
森林保全活動／環境教育・啓発	62
環境負荷低減の取組み	63

重点テーマ4

投資を通じた持続可能な社会への貢献	69
基本的な考え方	70
注力分野の取組み	71
投資判断へのESG要素の反映	74
スチュワードシップ活動	76
イニシアティブへの参画	78
責任投資レポートの公表	79

社会

サプライチェーン	80
T&D保険グループが賛同し支持する原則	81
外部よりいただいた評価	83
社会活動	84

ガバナンス

コーポレート・ガバナンス	89
リスクマネジメント	97
コンプライアンス	101
税務へのアプローチとマネジメント	103

第三者意見

	104
--	-----

データ集

環境データ	106
社会データ	110
GRI対照表	111

本レポートの記載において、関連するGRI項目番号を□内に表記しています。GRIスタンダードの詳細はP111 GRI対照表をご参照ください。

サステナビリティレポート2025について

レポート発行情報

2-2

2-3

発行時期	2025年9月30日（前回2024年9月30日 次回2026年9月予定）
対象範囲	T&Dホールディングスと連結子会社および財団法人 *ただし、項目ごとに重要性を考慮した報告内容とし、また、必要に応じて項目ごとに対象範囲を記載しています。 環境負荷データおよびグループ共通目標・実績データの対象範囲は、P.66-67「環境負荷データ」および「グループ共通目標・実績データ」の対象範囲と算定方法をご参照ください。
対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日（年次報告） *一部2025年4月以降の活動も掲載しています。

連絡先

2-3

株式会社T&Dホールディングス サステナビリティ推進部
〒103-6031 東京都中央区日本橋2-7-1 Eメール:csr@td-holdings.co.jp

第三者意見について

2025年度はサステナビリティに関し幅広い見識のある、青山学院大学客員教授 学校法人青山学院評議員 博士(経営管理) 小方信幸氏に、本レポートの内容について第三者の立場からご意見・アドバイスをいただきました。

編集方針

本レポートは、T&D保険グループがサステナビリティについてどのように考え、活動しているかを広くステークホルダーのみなさまにお伝えするために作成しました。2025年度版は、より多くのステークホルダーのみなさまに知っていただくために、サステナビリティレポートを発行するとともに、ホームページ開示情報を拡充しました。

「サステナビリティレポート2025」は、GRIスタンダードに準拠し、マネジメント・社会・環境等に関する活動を幅広く報告しています。（詳細は、「データ集 GRI対照表」をご参照ください。）また、「サステナビリティレポート2025ダイジェスト編」は、当グループのサステナビリティの考え方、主な取組みを、わかりやすくまとめてお伝えするため、少ないページ数で、写真・イラストを活用し親しみやすく、読みやすいレポートにしています。

ダイジェスト編の概要

- 経営理念・目指すグループ像
- T&D保険グループのあゆみ
- トップメッセージ
- サステナビリティ・マネジメント・アプローチ
- サステナビリティ・アドバイザー・コミッティ
- 重点テーマ1 健康で豊かな暮らしの実現
- 重点テーマ2 多様な人材が活躍できる環境づくり
- 重点テーマ3 地球環境保全・気候変動の緩和と適応への貢献
- 重点テーマ4 投資を通じた持続可能な社会への貢献
- 社会活動
- 外部評価/賛同し支持する原則